

分析分科会平成24年度第2回運営委員会 議事メモ(案)

2012年10月19日(金) 開場 13時～ 13時30分～16時40分

東京八重洲ホール 5F 512室

出席者(順不同・敬称略):

委員 永田(永岡代理、熊本県)、坂尾(神奈川)、門家(愛媛県)、林(東京都)、上野(東京都)、大橋(名古屋市)、杉内(福島県)、斧(滋賀県)、安達(滋賀県)

産総研側委員・事務局 伊藤、桐原

開会に先立ち、衣笠運営委員長が体調不良のため欠席であることの説明と、滋賀県・斧氏、滋賀県・安達氏による自己紹介があった。

(1) プログラム

本日の議事次第について伊藤より説明があった。

- ・共同研究のまとめについて、年会運営について、次回試料について。

(2) 共同研究試料(アルミニウム合金)

門家委員により無機分析手順書、分析結果等について説明が行われた。けい素の報告数は72件(1件報告なし)、銅の報告数は74件(ICPと電解重量法の両方で報告している参加者がいたため)、鉄とチタンは73件。ICPでの報告が多かった。

- ・チタンの平均値とヒストグラムの分布に違いがある。全体的にシフトしているようなので、ヒストグラムのラベルの付け間違いではないか?
 - 直ぐには原因が分からないので、持ち帰って検討する。
 - (後日、エクセルでの桁数の表示ミスが原因である事が分かった。)

(3) 共同研究試料(ナノ粒子)

伊藤より、ナノ粒子についての概要説明があった。

- ・普通のSEMでも見えるものなのか?
 - ボンヤリとなら見える。
- ・もう少し小さいサイズの方が、他の装置も使えて面白かったかも。
- ・今後の試料としては、TiO₂は面白いかも。EUでの規制に合わせた粒径で。
- ・触媒学会が細かいサイズのものを出していたかもしれない。
- ・今回、200個を数えるようにとの指示があったが、何か根拠はあるのか?
 - 経験的なもので、特に数学的な根拠は無いと思う。一応、持ち帰って聞いてみる。

(4) 年会での役割分担

伊藤より、年会での役割分担(司会者等)を決めなければならない旨の説明があった。

- ・平成25年度試料についての説明は、上野委員が行う。
- ・分析技術討論会:前半の司会は林委員、後半の司会は坂尾委員が行う。

- ・ 分析技術共同研究検討会の司会については、南委員(京都市)にお願いする事に。
- ・ その他の細かい役割分担(タイムキーパー等)や認定証を渡す代表者の決定は第三回運営委員会で行う。
- ・ 時間的には難しそうだが、写真撮影はどうするか？
 - 産総研がやりたいのでは？
 - プログラムのどこかで入れる方向で検討する。
- ・ 会場内の横断幕はどうするのか？
 - ホテルでやると思う。確認する。
- ・ 平成 25 年度の計測分科会はどこでやるのか？
 - 埼玉と聞いている。

(5) 平成 25 年度の共同分析試料

上野委員より、来年度は SUS304(測定項目は Si, Mn, Ni, Cr)を分析試料とする旨の説明があった。また、開催期間は平成 25 年 12 月 4~6 日で予定しているとの説明があった。

- ・ 試料は SUS304 を用いる。日常的に分析している試料であることと、Cr と Ni の濃度も規定されているので、かなりシビアな分析になると思う。また、試料調製は JFE テクノリサーチに頼めば、円柱形ステンレス鋼を切断、洗浄、パッキングまでやってもらって、50 万円以内に収まるとのこと。
- ・ 滴定のシートも H25 年度試料に合わせて変更するという事で良いのか？
 - 良い。今回の試料に関しては、滴定で分析する参加者と予想されるので。少し、他の方の意見も取り入れて案を作成してみた。H25 年度の第一回運営委員会までに内容を確定すれば良いので、何か意見があったら教えてほしい。
- ・ やり方がバラバラだと、きちんとした解析がしにくい。もう少しやり方を絞ってはどうか？
 - ICP を持っていない機関もあるので、難しいと思う。
 - 今回の共同分析試料は JIS にも載っているし、基準もある。方法を絞るのには良いチャンスではないか？
 - 企業でも日常的は蛍光 X 線分析で、時々 ICP を使うと言うところもあるらしい。
 - JIS も一応挙げとくが、いつもの方法でやってもらうと言うので良いのでは？ ルーチンでやっている分析だろうから、シビアなサンプルではある。
- ・ 有効数字について、4 桁でやる意味がないのでは？との指摘があった。
 - 確かに、有効数字の概念から考えるとおかしい。
 - あくまでもデータ解析の際にやりやすくするためのものだから。
 - 事務局から、あくまでも解析をしやすくするために有効数字を 4 桁にしていると、年会で事務連絡をしてもらえないか。
 - アナウンスする方向で検討する。
- ・ サンプルの指定は？
 - 特にしない。
 - サンプルも通常やっている方法で、ということであれば、より技能試験に近い。
- ・ JFE テクノリサーチは、ラベル貼りはやってくれないので、産総研でやってもらえるのか？

→H24年度の試料もやったので、やることは可能。

- CやSも分析できると面白いかも知れないが、CとSの均質性を評価すると予算がオーバーしてしまう。参考値として報告してもらうのは良いかもしれない。
- 変なサンプルに当たらないようにしたい。相当品とかもあるから。良い試料に当たって、たくさん試料が残ったら、標準品としても使えるだろう。
- 技術講演会って何？
 - 和歌山の時にやったみたいなもの。
 - 交流会自体は都産研内ではできないから、近くのホテルでやることを考えている。ただ、忘年会シーズンなので注意しておかないと。
- 共同分析試料については、発注のやり方等を教えてもらえれば、直ぐに着手できる状況になっている。
 - 持ち帰って、やり方等については追って連絡する。

(6) その他

- 昭和電工に結果を教えるとのことだったが、どの程度の情報を開示するのか？ 衣笠委員と福本委員は、最終的な結果だけで良いのではないかと、とのことだった。また、くれぐれも個人を特定できないように、とのことだった。
 - フローチャートも欲しいと思う。データがもらえれば、こちらで加工する。
 - 一度、持ち帰ってからメールベースで検討する方向で。
- 会長県の依頼に関しては、もう少し早い時期に決められないのか？ 例えば、5年先を見据えるぐらいで打診するとか。受ける側も、備える時間が必要なので。
 - 今後、検討する。
- 現在予定している見学会の終了時間で、東京にはどのくらいに戻ってこられるのか？
 - 18時くらいには東京駅に戻ってこられるはず。
- 第3回の運営委員会の予定は？
 - 年会の前日(12/5)の16時～18時を予定している。開催案内については、追って連絡する。

以上